



「Re」の発想で、未来にのぞむ

広友グループ

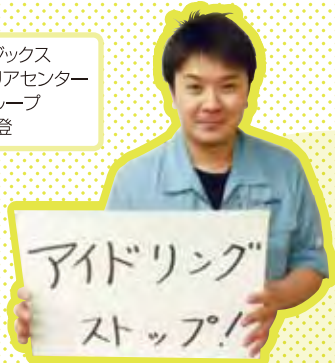
環境報告書2013

Environmental Report

# 私の 「Re」 の取り組み

広友グループは、  
全社員の約22%にあたる127名が、  
eco検定を取得しています。

広友ロジックス  
九州エリアセンター  
運営グループ  
井上 博登



My箸  
My風呂敷  
愛用中☆

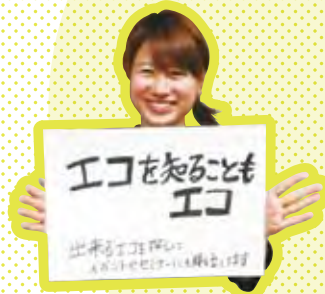


広友リース 九州支店  
建設営業グループ  
猪腰 重之



広友リース 九州支店  
ファシリティ・マネジメント  
営業グループ  
藤田 智樹

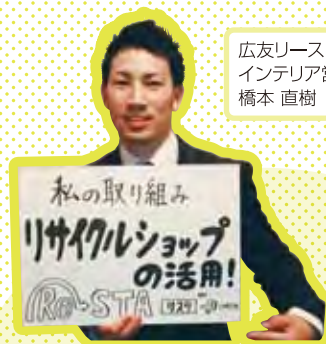
広友リース 関西支店  
第二建設営業グループ  
土井 由美恵



広友ロジックス  
関西エリアセンター運営グループ  
河内 裕司



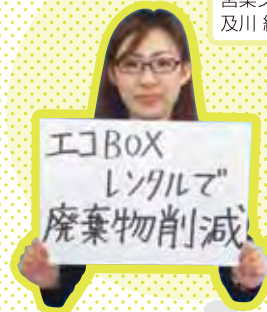
広友リース 関西支店  
インテリア営業グループ  
橋本 直樹



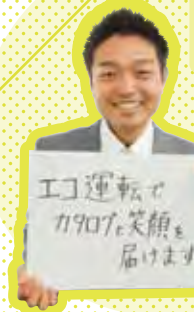
広友ロジックス  
関東エリアセンター  
札幌ステーション  
工藤 千秋



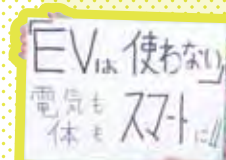
広友リース 東北支店  
営業グループ  
及川 紗代



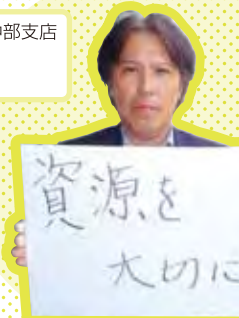
広友リース 中部支店  
静岡営業所  
鈴木 和久



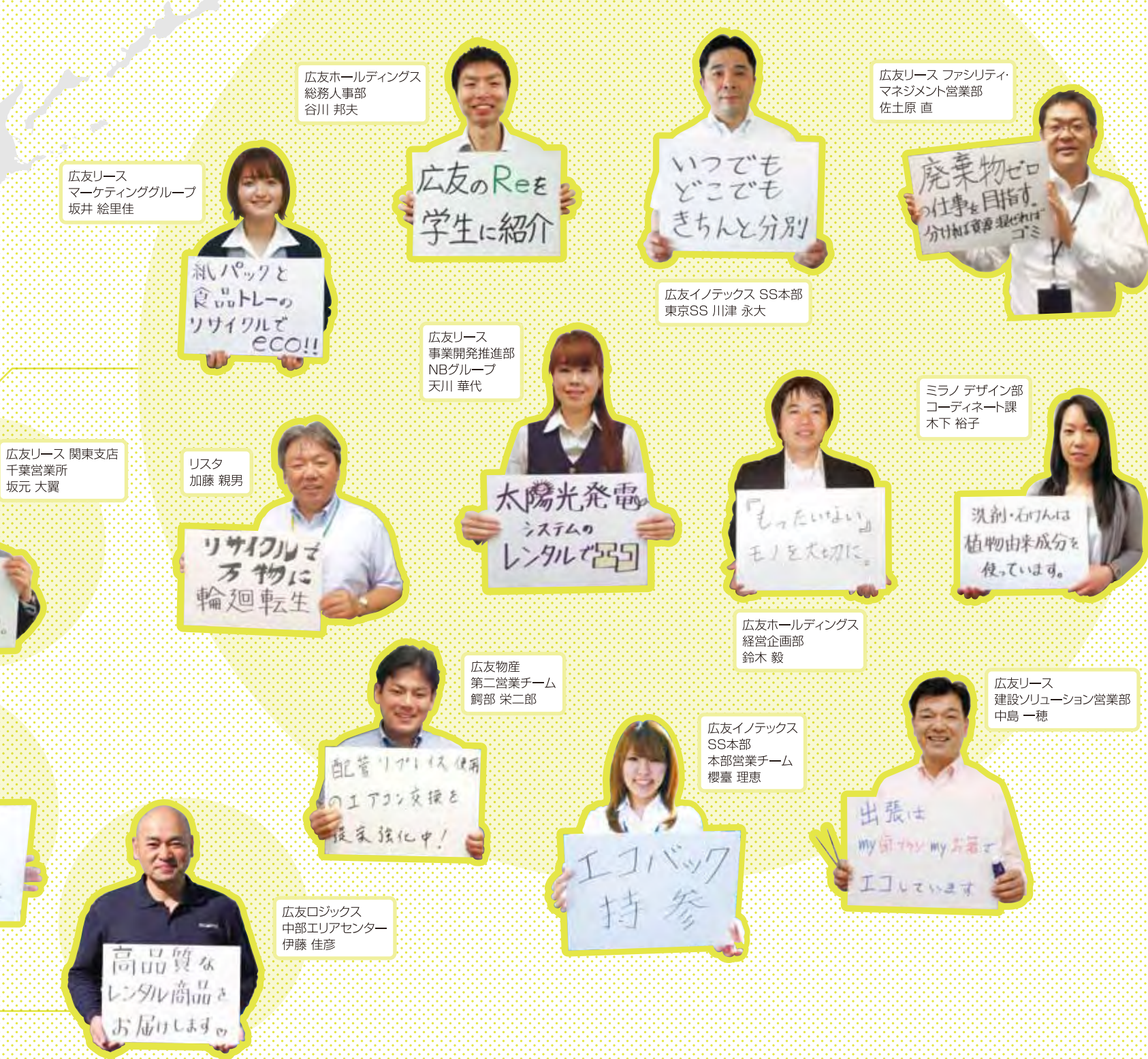
広友リース 九州支店  
沖縄営業所  
金城 睦荘



※EV…エレベーター







# Contents

トップ対談	03
「環境創造型企業」へ ～社員を育て、事業を通して環境貢献を実現する～	
特集1	05
大きなイベントでは必ず レンタル備品が使われています。	
特集2	07
江戸時代は、 ふんどのレンタルが当たり前!?	
環境配慮商品・サービス	09
広友のエコがいろいろ!	
環境報告	11
グループデータ	14
第三者意見	14

**編集方針**  
本報告書は、広友グループの環境への取り組みをステークホルダーの皆様によりわかりやすく伝えることを目的として発行しています。

●参考ガイドライン  
環境省  
「環境報告ガイドライン2012年版」  
●報告対象期間  
2012年4月1日～2013年3月31日  
●報告対象範囲  
広友ホールディングス株式会社  
および子会社9社  
●発行  
2013年8月

## トップ対談

# 「環境創造型企業」へ

## ～社員を育て、事業を通して環境貢献を実現する～

地球温暖化により氷河が後退し、氷雪が減っています。

広友グループがサポートするアルペンスキー選手、皆川賢太郎氏をお招きして、ウィンタースポーツの現場で感じる温暖化の進行状況をお聞きし、広友グループの温暖化対策や3Rの取組みについてご意見をいただきました。

### 温暖化対策は、「見える化」がカギ

**梅木** 皆川選手は海外での活動が多いと思いますが、スキー競技や海外生活のなかで、地球温暖化について感じることをお聞かせください。

**皆川氏** ヨーロッパの活動拠点オーストリアでは、20年前は夏でも気温が20℃程度でしたが、今は30℃を超える日が多くなってきました。当時、ヨーロッパにはエアコンという文化はありませんでしたが、この10年間でエアコンが各家庭に普及してきました。そんなところからも温暖化が進行しているのがわかります。

一方、ヨーロッパの標高3,000m以上の山では、この15年間、年を経るごとに氷河が溶けてなくなってきています。また、温暖化の将来を見越して、欧米の銀行は標高1,700m以下のスキー場やホテルには融資しないという事態が起きています。ウィンタースポーツの現場にいると、温暖化が目で見えてわかるだけでなく、それが経済にま

で影響していることを実感します。

**梅木** 広友グループでも、温暖化を深刻な環境問題の一つとして捉えており、事業を通してCO<sub>2</sub>の削減に取り組んでいます。レンタル事業は一つのものを何度も繰り返し使うことでCO<sub>2</sub>を削減できます。計算してみると、コピー機の場合、買取りと比べCO<sub>2</sub>を1年間で約70%削減できることがわかりました。ライフサイクル全体のCO<sub>2</sub>排出量を複数の顧客で分担するために、これだけ削減できるのです。

今後も、レンタル事業を通じて、CO<sub>2</sub>削減に協力していきたいと考えています。

### 作った後の、「循環」が大事

**皆川氏** 国内のスキー場はバブル期に900カ所程度あったのですが、現在は400カ所程度まで減りました。

本来は、植林をして土地を返さなければならないのですが、倒産して閉鎖すると植林はおろか、リフト等の施設

アルペンスキー選手  
皆川賢太郎氏



スキー・アルペン(回転)で活躍。長野オリンピックに初出場、ソルトレイクシティオリンピック、トリノオリンピック、バンクーバーオリンピック4大会連続日本代表。2005年より広友グループとスポンサー契約。(株式会社ドーム所属)

も放置されます。日本は必要な時に「作る」能力は高いと思いますが、その後の「循環」が苦手ではないでしょうか。

**梅木** 当社の事業は、その「循環」を担っています。レンタル事業では製品を何度でも繰り返し使います。もし机の天板が壊れたら、天板だけを取り替えるし、引き出しが故障したら、故障した部品を取り替えます。そういう修理しやすい製品を開発して、特注しています。また不要品の買取り・



広友ホールディングス株式会社  
代表取締役会長 兼 社長

梅本孝夫



販売事業も行うなど、「3R」をサービスの中で実践し、資源を無駄にしません。事業を通じて豊かな地球環境を将来世代に引き継いでいきたいと考えています。

**皆川氏** そこまでやっているんですか。部品一つまで分解して、使えるものは徹底的に使っているということですね。スキー競技でも、仮設スタンドなど数多くのレンタル資材が使われています。廃棄するのも大変ですし、リユースが

大切ですね。

**梅本** 広友のレンタル備品はイベントや建設現場事務所などにご利用いただいています。例えば、東京スカイツリー®建設時にも当社のレンタル資材が多量に採用されました。

しかし、レンタルだからといっていい加減な商品を出すわけにはいきません。とにかく新品同様に整備してお客様に提供しています。当社は業界の先駆者として、レンタルの品質を引っ張っていかなければならないと考えています。

**皆川氏** 昔は資材を現場で購入していたのでしょうか。

**梅本** そうです。そこに目を付けて、マーケットを作ったのが弊社の創業の原点です。創業前、建設現場に行ったときに大量の机やイスが置いてあり、現場の方に話を聞いてみると、次の現場に持っていくが整理・清掃する時間がないので、汚れた状態で使うことになるという話を聞きました。そこで、清掃・メンテナンスを代行することができる資材のレンタル業務を開始したのです。

## もっとも大事な資産は「社員」 会社が社員を育て、社員が会社を育てる

**皆川氏** オリンピックを目指している私のチームでも、スタッフや関係者が多くなるほど、意識の統一が難しくなります。自発的に考え、行動できる人材をどうやって育てているのでしょうか。

**梅本** 社員は常にお客様に向かって仕事をしているので、全社員が同じ気持ちを持っていなければなりません。

私は、お客様との会話の中から仕事が生まれると思っています。お客様と共生するためにはどうすれば良いか、社員に知恵を出して提案してもらいたいのです。もちろん社内で仕事をする人もいい加減な仕事をすれば、お客様の信頼を失ってしまいます。環境に関しても、社員が自信を持って、環境ビジネスや環境取組みを提案・実行できるように、基本的な幅広い環境知識が得られる「環境社会検定試験®(eco検定)」の取得を推奨しています。受験料を会社が負担する制度を導入し、これまで社員の約22% (127名)が合格しました。個人のレベルが上がると、会社のレベルも上がっていくのです。

**皆川氏** スキーは雪が降らないと困る競技ですから、他のスポーツよりも温暖化に対する意識は高いと思いますが、広友グループの社員の方々も環境に対する意識が高いですね。検定合格者の多さからも、環境に関する人材育成に力を入れているのがわかります。環境の知識を習得することで、自分たちの仕事と環境を結び付けて考えて、事業や取組みの本質を学ぶことができるんでしょうね。今後、どのような未来を描いていけますか？

**梅本** 「環境創造型企業」として、環境とビジネスが両立するためには、社員の協力が不可欠です。会社の資産で一番大事なのは「社員」です。将来、社員には広友グループで仕事したことを「良かったな」という思い出を残してもらいたい。そのためにも、彼らに将来設計が描けるような職場を提供し、企業を継続させなければなりません。

今後も社員教育も含めてしっかりと取組んでいきます。



# 大きなイベントでは必ず レンタル備品が使われています。

## 【42.195kmを支える道具】

多くの人が楽しめるスポーツとして、今、日本中でブームとなっているマラソン。火付け役となったのは、世界のトップレースで組織する「ワールドマラソンメジャーズ」への加入も果たした東京マラソンといっても過言ではありません。2007年に第一回が開催されて以来、毎年3万6,000人のランナーが東京の街を駆け抜けます。

そのランナーたちが42.195kmを走る傍らには、たくさんの備品が立ち並び、大会の運営を支えています。実は、これらの多くには広友リースの「レンタル」が利用されています。コース上に設置された2万5,000本のカラーコーン、各所に設置された簡易トイレ、救護所の担架や簡易ベッド、運営スタッフを暖める暖房器具、表彰ステージでのMC台や、途中リタイアした人たちを暖めるひざ掛け毛布までもがレンタルなのです。

レンタルは、「必要なものを、必要なときに、必要な数量を、必要な期間だけ」利用できる利便性、コストダウンにつながる経済性、そして環境性においてメリットがあるため、イベントで大活躍しています。

東京マラソンは、3万6,000人が参加する大イベント。たくさんの市民ランナーがこの日のためにトレーニングして、生き生きと楽しんで走っています。その傍らにある様々な備品の多くは、実は、広友の「レンタル」だったのです。



## 「レンタルは、エコ？」

「東京マラソン2012」で使用された広友リースのレンタル備品数は、12,638点にものぼります。これらの備品が使われるのは開催当日とその前後を合わせて数日間だけです。もし、この数日のために備品を購入し、終了後に廃棄処分されてしまったら…？地球上の貴重な資源を消費してつくられた製品は、廃棄物として処分され、地球環境にマイナスの影響を与えてしまいます。

一方レンタルを活用すると、東京マラソンで活躍を終えた備品は、会場から撤去された後、丁寧なメンテナンスが施され、別のイベントや、建設現場事務所、マンションモデルルームでも繰り返し使用されています。必要なのはモノ自体ではなく、そこにある機能だということに着目し、リユースを繰り返すレンタルの仕組みは、資源消費の抑制、廃棄物やCO<sub>2</sub>の排出量削減につながります。

### ■レンタルによるCO<sub>2</sub>排出量削減効果



※レンタルは、ひとつの製品を複数のお客様が使います。そのため、ライフサイクル全体のCO<sub>2</sub>排出量を複数のお客様が分担することになり、一人当たりの排出量が買取りよりも少なくなります。

コピー機なら  
1年間で  
**約7割  
DOWN**

## 「レンタル由来のCO<sub>2</sub>もオフセット！」

また、広友グループは、レンタルの環境性をさらに高めるため、カーボンオフセットを推進しています。レンタルの電化製品で使用时に排出されるCO<sub>2</sub>やオフィスの引越しなどで備品を廃棄する際に排出されるCO<sub>2</sub>の排出量を計算「見える化」し、その量に応じたオフセット（相殺）をしていただくサービスをお客様にご提案しています。

当社では、東京マラソンにおいて、このサービスを2008年から自主的に実施しており、自社レンタル品の使用時（電化製品など）および輸送時のCO<sub>2</sub>排出量を計算し、カーボンオフセットしています。2012年度は23t-CO<sub>2</sub>をオフセットしました。

今後も広友グループは、レンタル事業を通して、お客様の利便性向上やコストダウン、環境負荷低減に取り組んでいきます。



カーボンオフセット証書

### ステークホルダーからの声



一般財団法人  
東京マラソン財団  
事業担当局長  
東京マラソンレースディレクター

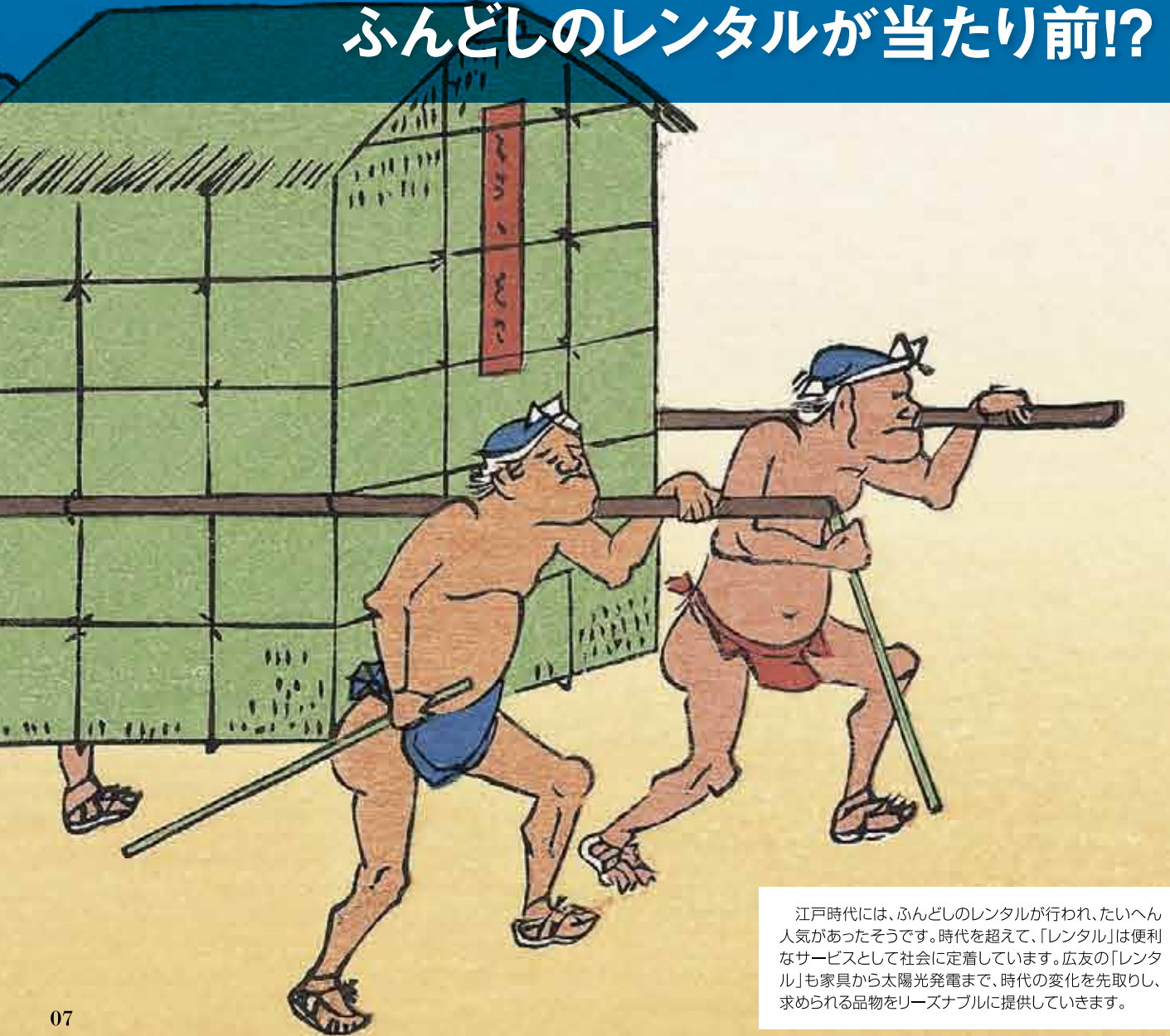
**早野 忠昭 氏**

広友グループ様には、第1回東京マラソンの開催から欠かすことのできないパートナーとして、運営に関わる数々の業務におけるお手伝いをいただいております。長きに渡る御援助と、ご協力に対してこの場をお借りして御礼申し上げます。

本報告書でご紹介されている広友グループ様のエコに関わる取組みは、東京マラソン大会運営上においても、廃棄物の抑制やCO<sub>2</sub>の排出削減等の面で多大なる貢献をされております。

昨年のワールドマラソンメジャーズ加盟を始め、東京マラソン自体も進化をつづけていく中で、今後も東京マラソンを通じた地球環境保全に取り組んでまいります。

## 江戸時代は、 ふんどしのレンタルが当たり前!?



江戸時代には、ふんどしのレンタルが行われ、たいへん人気があったそうです。時代を超えて、「レンタル」は便利なサービスとして社会に定着しています。広友の「レンタル」も家具から太陽光発電まで、時代の変化を先取りし、求められる品物をリーズナブルに提供していきます。

### 江戸時代は「エコ時代」

江戸時代、庶民の多くは「長屋」に住んでいました。

狭い長屋では、余分なものを持つことはできません。また、現在のように大量生産されたものを手軽に手に入れることはできなかったため、手をかけてつくられたものはどんなものでも貴重でした。

少ない持ち物を大切に長く使いつづけるということは江戸に住む人々にとっては当たり前のことでした。壊れたり不要になったりしても、簡単に捨てるという意識はまったくありません。大切にとことん使った後も、回収してリサイクルしたり、燃料にします。燃やした後の灰でさえも様々な用途に利用され、江戸ではごみとして捨てるものはほとんどなく、徹底したリサイクルが行われていました。そのため、100万人という当時としては世界一の人口を抱える大都市だったにもかかわらず、ごみの処理に困ることは少なかったようです。



壊れた桶や籠(たが)を修理する「籠屋(たがや)」



## 行商人には修理屋も!

こうした理想的な循環型社会の実現を可能にしたのは、江戸の街にたくさん存在したレンタル業、修理業、古物回収業といった商売でした。年に一度の花見で使う重箱は「損料屋」で借りてすませる、鍋に穴が開いたら「鑄掛屋」に修理してもらう、古くなった傘は「古傘買い」に売る、といった生活がごく普通にできたのです。

## 現代に息づく江戸の文化

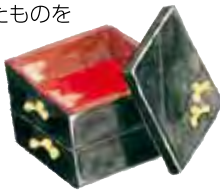
広友グループのサービスは、かつて江戸で暮らした人々と同じ、「ものを大切に使う」という発想から生まれたものです。日本に昔からある素晴らしい文化を、サービスの提供を通じて再発信し、現代における循環型社会の実現に向けて取り組んでいます。

### 江戸時代と現代の3Rビジネスの比較

江戸時代

#### ■損料屋

損料屋で借りたものを質入れする、困った人も…



#### ■修理職人

呼び止めれば家まで修理に来てくれる業者も。



#### ■古物買い

ボロや欠けた茶碗など、利用価値があればなんでも買取った。



共通項

「モノ」ではなく「機能」を提供する

ひとつのものを大切に使う

最後まで使い切る

現代

#### ■レンタルサービス

オフィス家具やIT機器などの総合レンタル



#### ■リペアサービス

スチール家具や木製家具などのリペアサービス

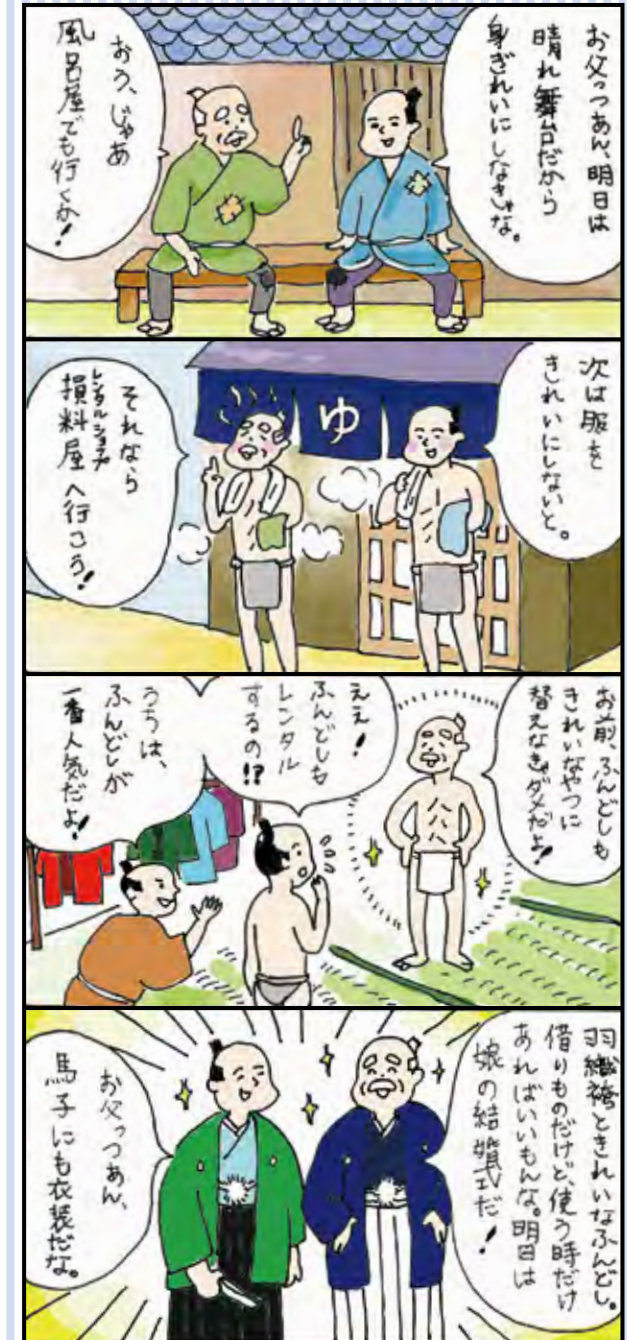


#### ■買取りサービス

不要になったものを買取り、リユースショップ「リスタ」で販売。



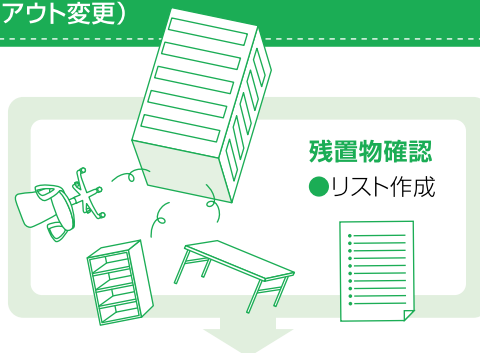
## 江戸 レンタルビジネス花盛り



# 環境配慮商品・サービス 広友のエコがいろいろ!

## エコな不要品片付け(オフィス移転・レイアウト変更)

「建物をひっくり返して落ちるものすべて」をコンセプトに、全国でお客様がオフィスを移転する際の残置物片付けサービスを「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」の考えに沿ってご提案しています。



step  
1

### お客様関連事業所等で転用(リデュース)

- クリーニング・リペアサービス
- 保管・預かりサービス
- 全国配送サービス



### 寄付・寄贈(リユース)

- 県や市が運営する施設、NPO法人など



step  
2

### リユース買取り

- リユースショップ「リスタ」での買取り
- レンタル商品として買取り



グループ会社が運営するリユースショップ「リスタ」

### リサイクル買取り

- 素材としての買取り

step  
3

### リサイクル廃棄処理

- リサイクル率を考慮
- 産廃契約書、マニフェスト管理

すべての作業終了後、下記報告書を提出します

- リサイクル報告書
  - CO<sub>2</sub>排出量計算書
- ※カーボンオフセット可能

## カーボンオフセット付きサービス

お客様が手軽に環境貢献に取り組むことができるサービスとして、カーボンオフセット付きサービスを提供しています。

レンタル品(電化製品など)の使用時やオフィスの移転によるCO<sub>2</sub>排出量を算出し、代金によってオフセット(相殺)する仕組みです。カーボンオフセット代金は、国内外で実施されるCO<sub>2</sub>排出削減プロジェクトなどにあてられます。

2012年度までに累計1,276件の現場でご利用いただき、約371t-CO<sub>2</sub>がオフセットされています。

### ●カーボンオフセットシール



排出権:インド風力発電プロジェクト(CDM)



排出権:トキの森整備事業(新潟県J-VER)

## 環境配慮商品の販売

商社である広友物産、広友サービスでは日ごろより環境配慮商品情報を収集し、お客様へのご提案を積極的に行っています。商品の一例として、適正な枚数を細断することで省エネにつなげるシュレッターがあります。(資)オリエンタル製の「WhiteGoatシュレッターDH3105E-fc」は、「エコキープモニタ」を搭載し、細断効率において最適な運転状態を確認することができます。一度に最適な枚数を投入した場合、それより多すぎる場合や少なすぎる場合と比較して消費電力を15%~30%程度\*低減させることができます。

※A4PPC用紙2500枚細断する場合

### ■最適な運転状態



### ■多すぎる場合



### ■少なすぎる場合







# 太陽光発電システムのレンタルで 環境省実証研究事業に協力

「沼島」は瀬戸内海淡路島の南側に位置する、人口520人が暮らす小さな島です。

ここで環境省による地球温暖化対策のための実証研究事業が行われています。

未来に向けて産官学が連携し「エネルギー自立島」をつくり出すための事業において、  
広友リースの「レンタル」が活用されました。

## プロジェクト概要

事業名：離島・漁村における直流技術による  
自立、分散エネルギーシステム技術  
の実証研究

実施場所：兵庫県南あわじ市沼島

実施予定年度：平成24年度～平成26年度

沼島は深い歴史や多くの特産品があり、地  
質学的にも特殊な島として知られています。

かつて「沼島千軒金の島」とも呼ばれた島  
の雰囲気を活かしながら、今回の実証実験の  
ようなエネルギーの効率的利用に関する最先  
端システムをうまく掛け合わせ、あわじ環境  
未来島構想における「エネ  
ルギーの自立」の実現へとつな  
げたいと考えています。

## プロジェクトで使用されている 広友のレンタル商品

### リチウムイオン蓄電池



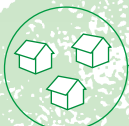
### 太陽光パネル



### 沼島総合センター



### 島内の住宅51戸



### スマートメーター



## プロジェクトにおける 広友リースの位置づけ

### 環境省

提案

予算

### 沼島における実証研究事業

神戸大学(事業統括)

南あわじ市(協力)

慧通信技術工業(株)  
(共同実施者会議部会メンバー)

協力

他

広友リース 太陽光パネル、リチウムイオン蓄電池、  
スマートメーターのレンタル

環境省の事業資金を活用している本事業  
で、高性能な機材をレンタルで利用できること  
は、会計処理が容易という点において非常にメ  
リットがありました。また事業終了後に処分に  
ついて考える必要がない、最適な仕組みを考  
えるための試行的使用がで  
きる、といった点もとても  
合理的です。本事業におい  
てレンタルは大きな役割  
を果たしてくれています。



南あわじ市  
市長公室 課長 喜田 憲和 氏

慧通信技術工業株式会社  
代表取締役社長  
栗田 隆央 氏



# 環境報告

## 広友グループ 企業理念

**全社一丸となり顧客を創造し  
社業発展、進歩を図り社会に貢献する。**

顧客から、値打ちのある評価をしていただける企業であること。

広友はレンタルという市場を切り開いたパイオニアとして、さらに事業を通して、社会に貢献していこうという企業理念を示しました。経営の原点「三方よし」の精神で果敢に新しい事業に挑戦してまいります。

## 広友グループ 環境理念

**レンタル事業を核として、  
顧客のニーズにこたえ、  
環境負荷低減に努め、未来との共生を図る。**

企業理念の思いが、環境理念全般に渡り貫かれています。広友の環境理念は突き詰めるといかに環境貢献と企業活動を両立させて、顧客と共に社業を発展させるかにあります。一見相反する環境貢献と利益の創出を実現するため、環境に配慮した商品・サービスを創り出し、シナジー効果をねらいます。

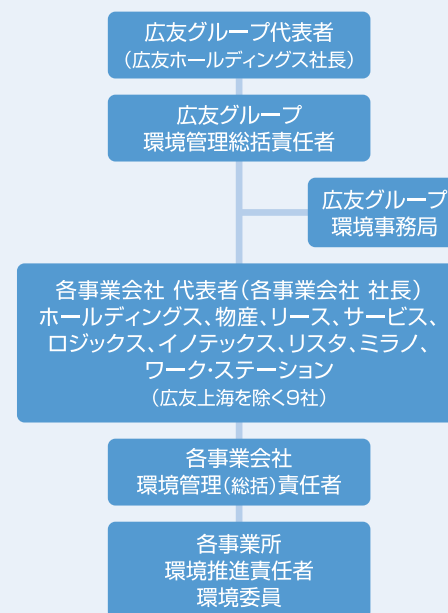
## 広友グループ 環境方針

**広友グループは、事務用備品等のレンタル・販売を核  
とした環境創造型企業として、全社一丸となり、企業  
活動及び社員の行動を通して、環境保全に努め、環境  
に配慮した商品を提供するとともに、環境法令を遵守  
し、資源節減、環境負荷低減を目指します。**

## 環境マネジメントシステム

環境創造型企業として環境との共生を目指すため、環境省策定の環境マネジメントシステム「エコアクション21」を導入し、環境活動の継続的改善を推進しています。認証・登録にあたってはグループ一丸となった取り組みを目指し、広友ホールディングスを核とした「複数法人による一括した認証・登録」を導入しています。

### ●広友グループ環境取り組み組織図



## エコアクション21認証・登録状況

グループ全事業会社での認証・登録を目指し、段階的に取り組みを進めています。2011年11月の更新審査で「複数法人による一括した認証・登録」へと本格的に移行し、認証・登録事業者は広友ホールディングス株式会社、その他の事業会社を広友ホールディングスの関連事業会社としました。2013年3月までの認証の取得状況は下表のとおりです。

認証・登録番号
0004836
認証・登録事業者
広友ホールディングス株式会社
認証・登録日
2010年3月31日
関連事業会社(認証・登録範囲)
広友物産株式会社
広友リース株式会社
広友サービス株式会社
広友ロジックス株式会社
広友イノテックス株式会社
株式会社リスタ
株式会社ミラノ



## 環境目標と実績

評価方法 ○…目標を達成できた項目 △…目標達成には至らなかったものの、前年度より改善できた項目 ×…目標を達成できなかった項目

項目		広友ホールディングス	広友物産	広友リース	広友サービス	広友ロジックス	広友イノテックス	リスタ	ミラノ	主な活動内容
消費電力	目標	維持	広友ホールディングスと同一ビルに所在のため、共同で実施	1%削減	広友リースと同一ビルに所在のため、共同で実施	2%削減	1%削減	3%削減	広友リースと同一ビルに所在のため、共同で実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パソコンディスプレイの電源、照明をごまめに切る</li> <li>●冷暖房の温度管理の徹底・エアコンフィルターの清掃</li> <li>●蛍光灯の引き換え</li> <li>●パソコンモニタの照度を下げる</li> <li>●省エネ商品に交換する</li> </ul>
	実績	維持		2%増加		維持	20%削減	7%削減		
	評価	○		×		△	○	○		
燃料	目標	—		1%削減		2%削減	1%燃費改善	3%削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>●できるだけ公共の交通機関を利用する</li> <li>●車間距離を守り、一定速度の経済運転をする</li> <li>●アイドリングストップを実行する</li> <li>●燃料積載量を減らし車体を軽くする</li> </ul>
	実績	—		2%増加		維持	7%燃費改善	38%増加		
	評価	—		×		△	○	×		
水使用量	目標	維持		1%削減		2%削減	1%削減	3%削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>●お湯を沸かすときは適量を心がける</li> <li>●節水コマの取り付けや、元栓を絞って水量を減らす</li> </ul>
	実績	2%削減		1%削減		1%増加	26%削減	24%削減		
	評価	○		○		×	○	○		
コピー用紙使用量	目標	維持	維持	1%削減		—	1%削減	3%削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>●会議などペーパーレス化を推進</li> <li>●両面印刷</li> <li>●メールなどパソコンツールを活用してFAXを減らす</li> </ul>
	実績	21%増加	26%増加	維持		—	15%削減	14%増加		
	評価	×	×	△		—	○	×		
廃棄物	目標	維持	広友ホールディングスと同一ビルに所在のため、共同で実施	2%削減	広友リースと同一ビルに所在のため、共同で実施	1%削減	1%削減	3%削減	広友リースと同一ビルに所在のため、共同で実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昼食時のごみの削減</li> <li>●廃棄物の分別を行い、資源化を図る</li> <li>●処分品の部材再利用化を拡大する</li> <li>●包装仕様の見直し、資材の再利用による梱包資材の削減</li> </ul>
	実績	32%削減		6%削減		18%削減	22%増加	4%増加		
	評価	○		○		○	×	×		
事務用消耗品のグリーン購入	目標	「エコ商品」購入金額の割合を前年度(60%)よりも上げる	「エコ商品」購入金額の割合を前年度(68%)よりも上げる	「エコ商品」購入金額の割合を前年度(31%)よりも上げる		—	「エコ商品」購入金額の割合40%	「エコ商品」購入金額の割合の実績把握		<ul style="list-style-type: none"> <li>●必要性をよく考え、購入を控える</li> <li>●価格、品質などが同等であればエコ商品を優先的に購入する</li> </ul>
	実績	62%	53%	55%		—	56%	59%		
	評価	○	×	○		—	○	○		
商品・サービスの提供	目標	エコ検定の合格者3人	環境・防災商品の提案年間840件以上/売上42,000千円以上	カーボンオフセット付きレンタルの受注件数 261件	環境商品の情報発信	処分品の再利用6%増加	「RoHS指令」対象品の購入60%以上	リユース(中古買取り)商品の売上比率向上(前年度15%)	LED照明採用現場実績把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各社ごとで取り組みを実施</li> </ul>
	実績	4人	884件/53,441千円	263件	100件	64%増加	96%	26%	17件	
	評価	○	○	○	○	○	○	○	○	

※目標、実績は前年度(2011年度)を基準としています。

# 環境報告

## 環境教育

環境に関する資格や検定の取得、講習の受講を推進しています。「環境社会検定試験®(eco検定)」、「3R・低炭素社会検定」については受験料を会社が負担し、社員の環境知識の底上げを図っています。

### ●合格者、受講者の状況

資格、検定	環境社会検定試験®	127名
	3R・低炭素社会検定	23名
	太陽光発電アドバイザー試験	7名
	大阪府 廃棄物管理士	4名
講習会	産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(新規)の収集・運搬課程	17名

## 社会貢献

### ●「大分トリニータ」をサポート

広友グループは、Jリーグに加盟する「大分トリニータ」のユニフォームスポンサーとして、チームの活動を応援しています。

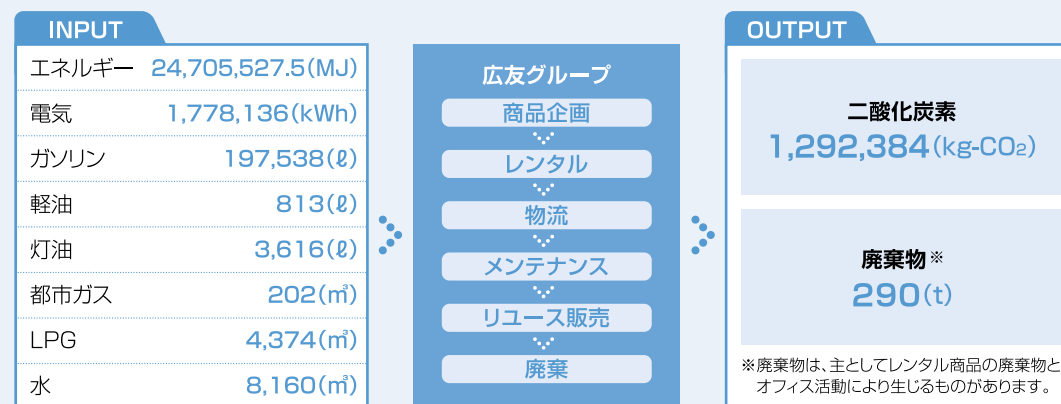


### ●皆川選手スキー教室を開催

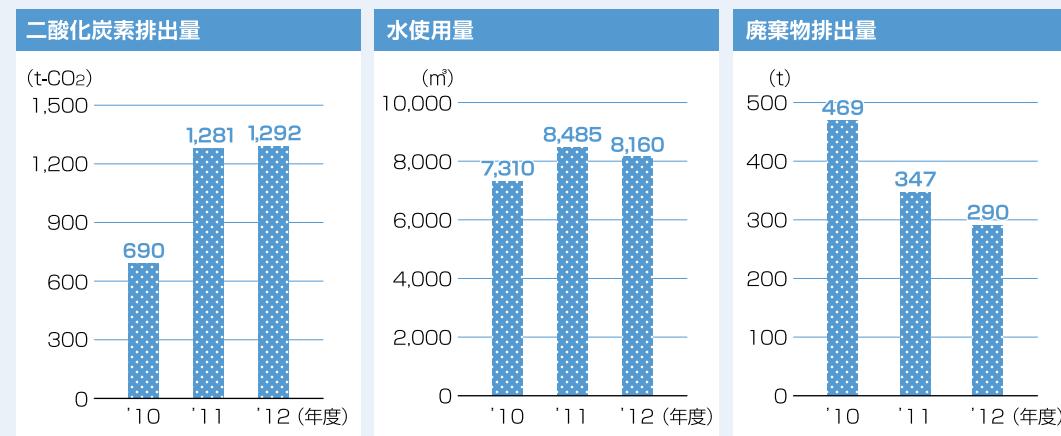
東北で被災した地域の子供たちを元気づけたいと、広友グループが2005年から応援しているアルペンスキーヤー皆川賢太郎選手の1DAYスキー教室を企画し、参加した39名の子供たちに元気いっぱいにスキーを楽しんでいただきました。



## マテリアルバランス



## パフォーマンスデータ



※ 2010年度のデータ対象範囲は、広友ホールディングス、広友物産、広友リース(三会堂ビル、さいたまオフィス)、広友サービス、広友ロジックス(ステーション除く)、広友イノテックス(城東オフィス)です。

※ 2011年度、2012年度のデータ対象範囲は、2010年度の対象範囲に、広友リース、広友ロジックス、広友イノテックスの全拠点が加わり、新たにリスタ、ミラノも追加されています。



# グループデータ

## ❖ 広友ホールディングスの事業概要

会 社 名 / 広友ホールディングス株式会社

所 在 地 / 東京都港区赤坂1-4-17広友ビル

設 立 / 1957年(昭和32年)  
2009年4月1日持株会社化に伴い  
廣友物産株式会社から商号変更

資 本 金 / 4,000万円  
(グループ合計 52,600万円)

事業内容 / グループ会社の経営統括と運営

### 広友ホールディングス株式会社

#### 広友物産株式会社

オフィス家具・備品、家電・  
OA機器の企画・開発・販売事業

#### 広友リース株式会社

オフィス家具・備品、家電・  
OA機器の総合レンタル事業

#### 広友サービス株式会社

オフィス家具・備品、家電・OA機器、  
環境配慮型商品販売事業

#### 広友ロジックス株式会社

オフィス家具・備品、家電・OA機器のリペア・  
メンテナンス、物流、保管、在庫管理事業

#### 広友イノテックス株式会社

IT機器のレンタル、IT環境の構築・メンテナンス、  
OA機器のリペア事業

#### 株式会社リスタ

オフィス家具・備品、ホーム家具、家電・  
OA機器のリユースショップ事業

#### 株式会社ミラノ

モデルルームの企画・設計・施工・コーディネート、  
企画・設計・監理・商品開発等の総合デザイン業務

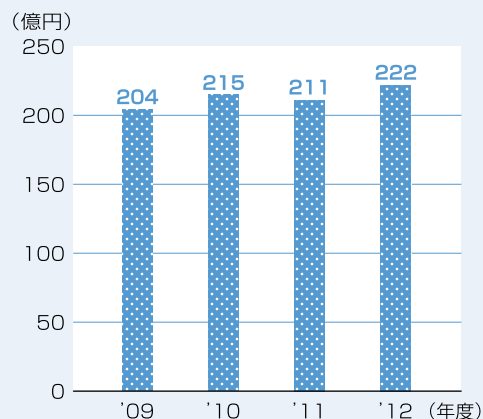
#### 株式会社ワーク・ステーション

モデルルームのコーディネート  
マンションのフリープラン設計変更対応業務  
インテリアオプション商品の販売

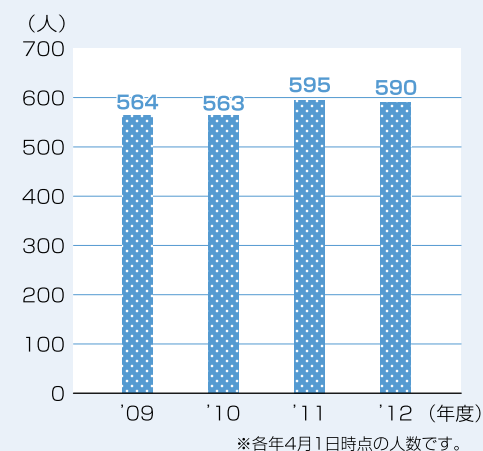
#### 広友租賃(上海)有限公司

中国でのオフィス家具・備品、家電・  
OA機器の総合レンタル事業

### ●売上高推移(グループ合計)



### ●従業員数推移(グループ合計)



## | 第三者意見 |



東京造形大学 教授  
(インダストリアルデザイン専攻領域、  
サステナブルプロジェクト)

### 益田 文和 氏

とかく堅くなりがちな環境活動報告を、編集方針にある通り「ステークホルダーの皆様にはわかりやすく伝えること」に努めていることに好感が持てる。東京マラソンの事例も身近でわかりやすいし、ふんどしをはじめとする江戸時代の3Rビジネスの話は、日本の文化に根差した「ものを大切に使う」心と、それを活かす合理的社会システムがかつて存在したことが興味深く、記憶に残った。それに比べ、カーボンオフセット付きサービスなどは制度の意味自体なかなかわかりにくく、やや舌足らずな印象がある。広友グループの事業活動が、限りある資源を有効活用し、ライフサイクルでの環境負荷を削減し、循環型社会の実現に資するという社会的使命に基づいたものであることは明確である。しかし、南あわじ市沼島のプロジェクトもそうであるが、例えばエネルギー自給事業によってどのような「明日の暮らし」を作ろうとしているのか。目標となるサステナブルな社会の姿が実像として描けると、全ての記事がそれに照らして読まれるので、さらにわかりやすくなるだろう。広友グループはその事業を通して未来の社会の風景を作っていくのだと考えて、しっかりしたデッサンを描いていただきたい。



広友ホールディングス株式会社

お問い合わせ先

環境推進部

〒107-0052

東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル4F

TEL 03-3587-1905 FAX 03-3587-1800

URL <http://www.koyou-holdings.co.jp>

発行 2013年8月



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C017322

この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用した FSC 認証用紙を使用しています。